

令和8年2月18日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

(宛先)

戸田市長

団体名 TOKUZU WORKS 戸田公園 地域活動委員会

代表者職・氏名 会長・木村 祐介

所在地

事業名	障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が共生できる地域づくり
実施期間	令和7年5月15日 ～ 令和8年2月7日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

【精神保健福祉アナログゲーム交流会】

- ・開催日時：毎月1回（土曜日）10：00～15：00
- ・会場：TOKUZU WORKS 戸田公園（下前2-7-13 ブラン・セラヴィ1階）
- ・定員：20名（事前申し込み）
- ・参加費：無料
- ・対象者：どなたでも可
- ・内容：みんなで楽しくアナログゲームを行いました。参加者が多い場合には、グループに分かれて実施。実施したゲームは、ジャストワン、カタン、スプレnder、ディクシット、ボムバスターズ、スカウト、ナナトリドリ、ほか。
- ・参加者：平均6.3名（令和7年3月～令和8年2月）  
（当会員、TOKUZU WORKS 戸田公園利用者、関係機関からの参加者、一般申し込み参加者、大学生ボランティア）
- ・実施体制：当会員1名
- ・周知方法：会報誌、メール、SNS（ブログ、X）、戸田市ボランティア・市民活動支援センターホームページ

【「障がい者の雇用のこれから～精神疾患・発達障がいを中心に～」講演会主催】

- ・講師：[REDACTED]
- ・開催日時：令和7年5月21日（水）13:45～16:00（開場13：30）
- ・会場：戸田市文化会館会議室
- ・定員：70名（事前申し込み）
- ・参加費：無料
- ・対象者：どなたでも可
- ・内容：長年障がい者とともに働き、現在では障がい者雇用に関する研修や企

業に対する支援を行っている内田博之氏を講師に迎え、参加される皆様と一緒に障がい者雇用のこれからを考えました。

- ・参加者：14名
- ・実施体制：当会員2名、ボランティア6名
- ・周知方法：チラシ配付、メール、SNS（ブログ、X）、戸田市ボランティア・市民活動支援センターホームページ

#### 【機関紙の発行】

- ・発行日：令和7年7月・令和8年1月（各月1日付け発行）
- ・内容：地域活動委員会の活動報告、障がい福祉に関する情報発信等
- ・配布方法：関係機関への郵送、事業所SNS（ブログ、X）での公開、一部地域でのポスティング

数字の成果で言えば、いずれの活動も目標参加者数には及ばず、精神保健福祉アナログゲーム交流会の参加者平均は目標13名に対して6.3名、公開講座の参加者は目標42名に対して14名という結果にとどまった。ただ直近3ヶ月ほどで見ると、これまで関わりのなかった人が新たに参加されたり学生ボランティアの参加があったりと、徐々に人の輪が広がりつつあり、SDGsゴール3「すべての人に健康と福祉を」とSDGsゴール10「人や国の不平等をなくそう」の達成に向けた取り組みとしては一定の成果を上げられていると考える。

## 2 事業実施のスケジュール

月日	内 容
令和7年5月17日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年5月21日	公開講座「障がい者雇用のこれから」
令和7年6月21日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年7月1日	会報誌第1号発行
令和7年7月19日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年8月16日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年9月6日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年10月4日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年11月1日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和7年12月6日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和8年1月1日	会報誌第2号発行
令和8年1月10日	精神保健福祉アナログゲーム交流会
令和8年2月7日	精神保健福祉アナログゲーム交流会

### 3 事業の実施体制

#### ○精神保健福祉アナログゲーム交流会

会 場：TOKUZU WORKS 戸田公園

実施体制：会員 1 名（※不定期でボランティア参加あり）

#### ○公開講座「障がい者雇用のこれから」

会 場：戸田市文化会館

実施体制：会員 2 名 ボランティア 6 名

講 師：外部委託

#### ○機関紙の発行

発 行 元：TOKUZU WORKS 戸田公園 地域活動委員会

実施体制：会員 2 名

### 4 反省点と課題

まず目標とする数字に届かなかったことが大きな反省点であり、事業の周知方法に見直し、改善が必要であると考えている。特に公開講座については準備期間が短くなってしまったことから関係機関中心の案内となり、地域に広く宣伝できなかったことは次回以降への反省点として活かしていきたい。精神保健福祉アナログゲーム交流会の方は徐々に参加者の人数も幅も広がってきている最中であり、かねてより募集しているボランティアがようやく参加されるようになってきたところでもあるため、これを継続していくことが今後も大事になってくると考えている。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科目		予算額 ①	収入額 ②	比較 (②-①)	内訳
補助金・ 助成金	当補助金	47,070	41,015	△6,055	
	その他				
自己資金		20,000	0	△20,000	
会費(参加費等)		0			
利用者負担金(売上等)		0			
協賛金・寄附		0			
その他		0			
合計		67,070	41,015	△26,055	

【支出】

(円)

	科目	予算額 ①	支出額 ②	不用額 (①-②)	内訳
	補助 対象 経費	消耗品費	2,670	1,667	1,003
印刷製本 費		6,200	2,480	3,720	公開講座資料 単色・両面 50 部×12 枚×2 面×2 円= 2,400 円 会報誌 単色・片面 40 部×2 円=80 円
通信運搬 費		11,000	8,910	2,090	110 円切手×81 枚=8,910 円
食糧費		12,000	9,288	2,712	交流会お茶代(参加者用) =9,288 円
使用料		9,200	11,470	△2,270	戸田市文化会館 301 会議室=7,480 円 プロジェクター=2,670 円 室内音響装置=1,320 円
謝礼金		6,000	7,200	△1,200	公開講座ボランティア 1,200 円×6 人=7,200 円
小計		47,070	※ 41,015	6,055	※支出額内訳 補助金充当額: 41,015 自主財源: 0

補助 対象 外 経 費	消耗品費	20,000	0	20,000	
	小計	20,000	0	20,000	
合計		67,070	41,015	26,055	

